

(2019～2024)

責任者名: 中学部長

【3年間の運営方針】	【3年後のありたい状態】
<p>1. 人材育成、教育の方針 ＜人材育成の方針＞ 関学スピリットを軸とする者を育てる 1.”Mastery for Service”を体現する世界市民の“卵” 2. 人の痛みが分かる共感性に富み「感謝・祈り・練達」を心得る者 3. 高等部・本大学で中核となる者 4. 多様性の社会を生きる生涯アクティブラーナーの基礎作り</p> <p>＜教育の方針＞ キリスト教主義に基づく全人教育を実践する 1. 一人ひとりの存在価値の尊重 ～人を全てそのままに 2. 心と体と知のバランスよい育成 ～人の全き成長を 3. 「師弟同行」～人が人を育てる 4. 「Kwansei コンピテンシー」の幹の涵養 ～向きあう姿勢(品位・誠実さ)・向きあう力(粘り強さ)・広がる心(共感性・多様性)・確かな学力(ICT 機器の活用を通して)</p>	<p>＜2024年度のありたい状態＞ 1. 当該諸方針への理解が教員間で深まり共有されている。 2. 「Kwansei コンピテンシー」の幹が涵養され、関学スピリットを軸とする生徒が育っている。 3. 本大学生(OB/OG 含む)による学習や諸活動でのサポートを得ながら、左記の全人教育が実践されている。 4. 学力三要素(知識・技能/思考力・判断力・表現力/学びに向かう力)が養われている。 5. 高等部への進学者数が高位安定している。</p>
<p>2. 生徒獲得の方針 関学ファンを創出し獲得する 1. 入試の内容の継続的見直し 2. オープンスクールや学校説明会での訴求力向上 3. 高等部との広報連携の強化、及び高中一体の訴求力の向上 4. 初等部への中学部広報の継続</p>	<p>＜2024年度のありたい状態＞ 1. 一般入試の倍率が2倍程度で維持されている。 2. 学校の特色が効果的に伝わるオープンスクール等が実施されている。 3. 説明会等において高中教員が互いの学校について十分に説明できる。 4. 初等部からの推薦入学者数が高位安定している。</p>
<p>3. 中期的課題 ＜フェーズ2(2022～2024)＞ 1. ICT教育の推進(2022年度入学生よりBYOD へ)と主体的学びの促進 2. 教員の労働環境の改善を通じた、ワークライフバランスの適切化と教育の質の向上 3. 高等部への進学者数、及び初等部からの入学者数の高位安定化 4. 多様性の精神と人権意識の涵養 5. 初・中・高の連携強化</p>	

【重点施策】 (中期的な課題を解決するための重点施策を箇条書きしてください。「中期総合経営計画」の実施計画がある場合は、第1順位にしてください。優先順位の高いものから5つ程度)	【中期総合経営計画 実施計画】として取り組むものに ○
① 総合学園の「見える化」と関西学院アイデンティティの浸透	○
② 「大学生メンター制度」の導入	○
③ 働き方改革に伴う諸施策（キャンプなどの行事やクラブ活動）	
④ 教育方針や学校の課題の共有、及び主な課題の克服による、教育の質の向上 ～「Kwansei コンピテンシー」の幹の涵養を念頭に～	
⑤ 多様性の精神の涵養に向けた、人権教育などの充実	
⑥ 初・中・高の連携強化 ～全般的情報共有、及び教科連絡会等を通じた学力観の擦り合わせとカリキュラムの連携、及び高中教員の人事交流の活性化～	
⑦ 一人一台 ICT 端末の有効活用とITCリテラシー向上	
⑧ 英語教育の充実	

【3年間の取り組み状況(中期計画)を測る指標】

- ① スクールモットーの認知度・共感度
- ② メンター制度対象生徒へのアンケート調査
- ③ 働き方改革の進捗度合い
- ④ 一般入試倍率
- ⑤ 方針や課題の共有、および課題克服による教育の質の向上
- ⑥ -1 生徒のアンケート調査 改訂項目「授業や様々なプログラムを通して異文化に興味を持った」の肯定割合
- ⑥ -2 生徒のアンケート調査 既存項目「英文法が身につく、英語の四技能の活動ができていく」の肯定割合
- ⑥ -3 教員対象のアンケート調査 既存項目「人権や平和に関する生徒の感性と知性を養っている」の肯定割合
- ⑦ 教員対象のアンケート調査 既存項目「高等部と適切に連携している」の肯定割合

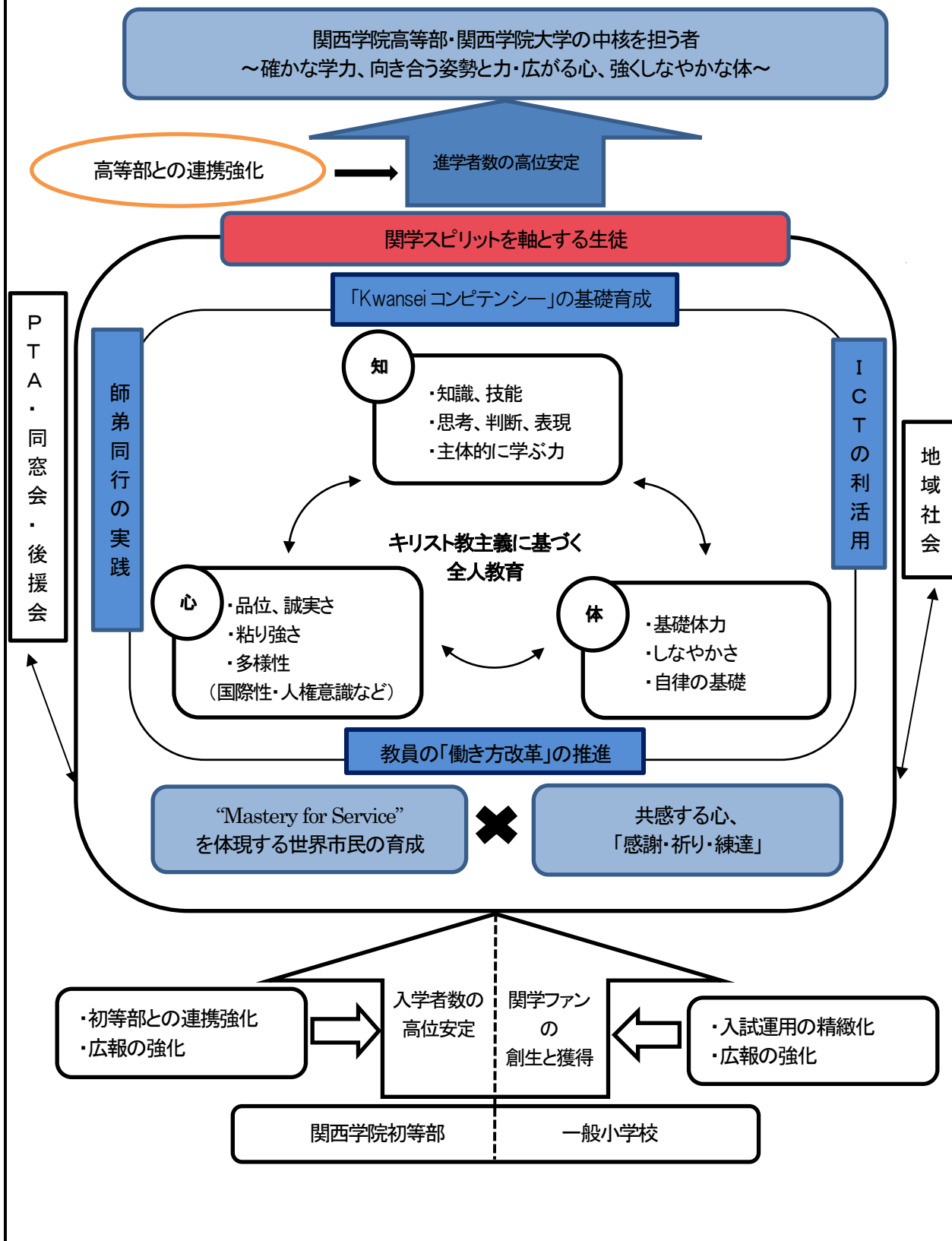
【目標や実績を踏まえた次年度に向けた展望】(2024年3月末時点)

<p><1. 2023 年度の中期計画の状況、課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向けた「大学生メンター制度」初年目の実施 ・生徒指導に関する対応組織化の当面の完了 ・異文化理解の促進を目指す海外交流プログラムの開拓の実施 ・働き方改革に伴う、キャンプなどの行事見直しの実施 <p><2. 学校評価の取り組みにより明らかになった課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試倍率に見られる、対外的訴求力の向上の必要性 ・初中高間の課題の共有と課題解決への着手の必要性 ・英語教育の推進の必要性 <p><3. 上記1, 2を踏まえた 2024 年度以降に向けた展望></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大学生メンター制度」二年目の充実 ・生徒指導に関する組織的対応力のさらなる強化 ・開拓を経ての海外交流プログラムの展開（ターム留学の準備を含む） ・初中高間の課題の共有
--

取り組みの全体像(イメージ)

2019～2021の取り組みの全体像(イメージ)を図で表現ください

“Kwansei Grand Challenge 2039 長期戦略テーマ:「総合学園」の枠組み再構築及び特長ある一貫教育の創出”



以上